

森ノ宮医療学園の概要



- 設置する学校・学部・過程・研究科・専攻ごとの名称

法人の名称	学校法人 森ノ宮医療学園
事務所の所在地	大阪府大阪市城東区中本4丁目1番8号

学校名	学部・学科名等	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	開設年度
森ノ宮医療大学	大学院保健医療学研究科 保健医療学専攻 修士課程	2年	6名	0名	12名	平成23年度
	大学院保健医療学研究科 医療科学専攻 博士後期課程	3年	2名	0名	4名	平成30年度
	保健医療学部 鍼灸学科	4年	60名	0名	240名	平成19年度
	保健医療学部 理学療法学科	4年	70名	0名	260名	平成19年度
	保健医療学部 看護学科	4年	90名	0名	340名	平成23年度
	保健医療学部 作業療法学科	4年	40名	0名	160名	平成28年度
	保健医療学部 臨床検査学科	4年	60名	0名	240名	平成28年度
	保健医療学部 臨床工学科	4年	60名	0名	120名	平成30年度
	助産学専攻科	1年	10名	0名	10名	平成28年度
森ノ宮医療学園 専門学校	医療専門課程 鍼灸学科	3年	120名	0名	390名	昭和48年度
	医療専門課程 柔道整復学科	3年	120名	0名	360名	平成12年度

大学の目的	<p>豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成する。疾病の予防と治療や健康の維持と増進に有用な科学的根拠を示し、現代医学と伝統医学の双方を尊重した特色ある教育研究活動によって医学と医療の発展に寄与し、広く社会に貢献する。これをもって、専門職業人養成と社会貢献の機能を果たす。</p> <p>(森ノ宮医療大学 学則第1条)</p>
学部の目的	<p>保健医療学部は、大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学 学則第4条の2 第1項)</p>

<p>学科の目的 (鍼灸学科)</p>	<p>鍼灸学科鍼灸コースは、専門職医療人として、豊かな人間性、専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。 鍼灸学科スポーツ特修コースは、鍼灸コースと同様の人間性や知識、技術を身につけることに加え、保健体育に関する専門知識を修得し、実践的指導力を持つ人材の育成を目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学 学則第4条の2 第2項第3項)</p>
<p>学科の目的 (理学療法学科)</p>	<p>理学療法学科は、科学性を持ちつつ人に優しい理学療法と、チーム医療を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学 学則第4条の2 第4項)</p>
<p>学科の目的 (看護学科)</p>	<p>看護学科は、チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術ならびに医療人としての態度を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学 学則第4条の2 第5項)</p>

<p>学科の目的 (臨床検査学科)</p>	<p>臨床検査学科は、生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理観と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することができる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学 学則第4条の2 第6項)</p>
<p>学科の目的 (作業療法学科)</p>	<p>作業療法学科は、チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学 学則第4条の2 第7項)</p>
<p>学科の目的 (臨床工学科)</p>	<p>臨床工学科は、チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学 学則第4条の2 第8項)</p>
<p>専攻科の目的 (助産学専攻科)</p>	<p>専攻科は、産科医療の高度化ならびに助産実践の多様性に対応し、女性と母子およびその家族のニーズに応えることができ、科学的根拠に基づく高度な助産診断能力および助産技術をもつ人材の育成、ならびに生命の尊厳と人間愛の精神を培い、助産師としての社会的使命と責務を認識し、安全で質の高い助産ケアを提供できる助産師の育成を目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学 助産学専攻科規程 第2条)</p>

<p>森ノ宮医療大学 大学院研究科の目的 (保健医療学専攻)</p>	<p>保健医療学専攻修士課程では、Evidence-Based Medicine (EBM)とチーム医療の概念を基本として、科学的かつ包括的な観点から課題を分析し処理できる高度な医療専門職業人を養成するとともに、多元的医療システムを理解し受容しながら保健医療の新しい価値観と発想を創り上げることが目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学大学院学則 第8条 第1項)</p>
<p>森ノ宮医療大学 大学院研究科の目的 (医療科学専攻)</p>	<p>医療科学専攻博士後期課程では、医療における学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、臨床に役立つ技術やシステムの研究開発を行うことによって、人々の健康の回復及び保持・増進に寄与することを目的とする。</p> <p>(森ノ宮医療大学大学院学則 第8条 第2項)</p>